

事務局長・事務局合同研修会開催

全海運、2年振りに京都で



木内部長

河村理事長

津守教授

藏本会長

寺岡副会長

宗田副会長

岡本副会長

村田副会長

全海運は3月18日、京都市内のANAクラウンプラザホテルで、令和3年度事務局長・事務局研修会を開催した。全海運の事務局研修会は毎年度秋に開催して来たが、昨年度はコロナ禍で中止となり、今年度は状況判断しながら、時期をずらせて2年振りの合同研修会開催となった。



全海運事務局

今回は全海運から正副会長5名と事務局5名、所属組合・参加組合から39名が出席。研修会終了後の懇親パーティーは開催が見送られたが、全国からの事務局長・事務局員が集う機会には他にないだけに、有意義な会合となった。

研修会は藏本由紀夫会長の開会挨拶で幕を開け、全海運事務局から①賦課金徴収規程 ②Web会議の活用についての説明の後、質疑応答。続いて、津守貴之岡山大学大学院教授の記念講演、河村俊信総連合会理事長が「内航海運暫定措置事業終了後の総連合会の内航業界の組織と事業等」について、木内智久総連合会事業部長が本年5月から総連合会主催により全国8カ所で開催予定の「労務管理責任者講習会の概要」（日本海事代理士会が講師派遣）について説明。寺岡洋一副会長（総務委員長）の挨拶で幕を閉じた。



研修会参加の事務局長・事務局員